

フィレンツェとベネチアの休日 10日間

2026年11月9日（月）～11月18日（水） | 両都市に各4連泊

1. 気候・服装・携行品について

■訪問都市の気候について（例年の平均最高・最低気温と月間降水量の目安です。）

都市名	項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
フィレンツェ	最高（℃）	8	9	13	17	21	26	29	29	24	19	13	9
	最低（℃）	1	1	4	7	11	15	18	18	14	10	6	2
	降水量（mm）	72	80	76	88	74	46	31	32	84	117	136	99
ベネチア	最高（℃）	7	9	13	17	21	26	28	28	23	18	13	8
	最低（℃）	2	2	5	10	14	18	20	20	16	13	8	3
	降水量（mm）	64	66	72	89	95	78	67	84	126	126	134	80
東京（日本）	最高（℃）	10	11	14	19	24	26	30	31	28	22	17	12
	最低（℃）	1	2	5	10	15	19	22	24	20	15	9	4
	降水量（mm）	60	57	116	134	140	168	156	155	225	235	96	58

※数値は長期平均を整数に丸めた目安です。フィレンツェ・ベネチアは1991～2021年、東京は1991～2020年の資料に基づきます。観測地点や資料によって差があり、旅行期間中の予報ではありません。ご出発前に最新の天気予報をご確認ください。

●フィレンツェ・ベネチアの11月の気候：

11月上旬～中旬は、秋が深まり冬へ向かう時期です。両都市とも11月の平均最高気温は約13℃、平均最低気温はフィレンツェが約6℃、ベネチアが約8℃です。**東京の同じ時期より日中の気温が低めで、曇天や雨の日、風のある水辺では一段と寒く感じる**ことがあります。晴れた日中の暖かさだけを想定せず、晩秋～初冬の寒さに対応できる服装をご準備ください。

●11月9日発の服装：

長袖シャツやカットソーに、セーター、カーディガン、フリースなどを重ね、その上に**ダウンジャケットや防風性のあるコート**を着用する服装がおすすめです。歩いている間や暖房のある屋内では暖かく感じることもありますので、**脱ぎ着しやすい重ね着**で調節してください。長ズボンを基本に、寒さが苦手な方は薄手の保温用肌着、マフラーやストール、薄手の手袋もあると便利です。

●フィレンツェの街歩き・美術館巡り：

ウフィツィ美術館、サンマルコ美術館、パラティーナ美術館などの見学に加え、旧市街やアルノ川周辺を歩きます。屋外と館内の温度差に対応できるよう、**前開きの上着など、簡単に脱ぎ着できる服装**が便利です。ミケランジェロ広場や川沿いでは風に備え、防寒着を手元にご用意ください。

●【重要】ベネチアの島巡り・水上バスでの防寒：

ムラーノ島、トルチェット島、ブラーノ島、サン・ジョルジョ・マッジョーレ島などをヴァポレット（水上バス）で巡ります。船着き場での待ち時間や水上での移動中、島の散策では風を受けて冷えやすくなります。**暖かい中間着に、風を通してにくい上着を重ねる準備**をお願いします。マフラーや手袋も役立ちます。船内では空いている座席などを利用し、寒さを感じたら無理に屋外に留まらないようにしてください。

●雨具について：

両都市とも、11月は雨への備えが必要です。**折りたたみ傘は観光時に携行**してください。ベネチアでは橋の階段や船への乗り降りもありますので、両手を使いやすい**フード付きの防水・撥水性のある上着**が便利です。バッグ用の雨よけ、濡れた傘を入れる袋、替えの靴下などもご用意ください。

1. 気候・服装・携行品について（続き）

●履物について：

両都市とも石畳の旧市街を歩く機会が多くあります。ベネチアでは運河に架かる橋を何度も渡るため、階段の上り下りもあります。**靴底に滑り止めがあり、履き慣れたスニーカーやウォーキングシューズ**をご用意ください。クッション性があり、防水・撥水性のある靴が便利です。雨で濡れた石畳や橋の階段、船着き場では特に足元にご注意ください。

●ベネチアの高潮（アックア・アルタ）について：

潮位や風などの条件によって、サン・マルコ広場周辺などの低い場所で冠水することがあります。**当日の潮位予報や添乗員・ホテルの案内をご確認ください**。冠水している場所には無理に入らず、通行できる経路をお選びください。雨用の靴は日常の雨対策として用意し、冠水への追加の備えが必要な場合は現地でご相談ください。

●教会・礼拝堂・美術館の見学について：

教会や礼拝堂では、**肩や膝が隠れる服装**を基本にしてください。石造りの建物内で肌寒く感じる場合にも、セーターやストールなどが役立ちます。また、美術館などでは大きなバッグの持ち込みを制限されることがあります。観光用の手荷物は、必要なものを入れた**小さめのバッグにまとめる**ことをおすすめします。

●自由行動・各自での夕食：

フィレンツェとベネチアにそれぞれ4連泊し、両都市で自由行動の時間を設けています。日中に晴れていても夕方以降は気温が下がりますので、**外出時には上着と雨具をお持ちください**。ベネチアでは細い路地や橋が続きます。ホテルの住所と位置を確認し、明るいうちに帰り道を把握しておくとう安心です。歩き疲れたらカフェやホテルで休憩するなど、ご自身のペースでお楽しみください。

●都市間の列車移動と手荷物：

フィレンツェからベネチアへは列車で移動します。**貴重品、常備薬、雨具、防寒着、飲料水など、その日に必要なものは手元のバッグへ入れてください**。スーツケースの別送を利用する場合も、ホテルで荷物を受け取るまでに使うものを取り分けておくとう便利です。荷物の回収時刻や受け取り方法は添乗員よりご案内します。

●日差し・乾燥への備え：

秋でも晴れた日の広場や水辺では、日差しや水面の反射がまぶしく感じられることがあります。**サングラス**があると便利です。必要に応じて帽子や日焼け止めもご用意ください。また、機内や暖房のある室内での乾燥に備え、リップクリームやハンドクリームもお持ちいただくと便利です。

●その他の携行品：

常備薬、ティッシュ類、ウェットティッシュ、靴ずれ用の絆創膏などをご用意ください。普段お使いの薬は、10日間の旅行日数に余裕を持った量を準備し、**機内持込手荷物に入れて携行してください**。船酔いが心配な方は、普段お使いの酔い止めもご用意ください。観光用には、ファスナーで閉じられる軽いバッグが便利です。スマートフォンやカメラの充電器、海外用の変換プラグもお忘れなくお持ちください。

2. 電圧・プラグについて

イタリアは**220～230V・50Hz**。充電用には**Cタイプ**の変換プラグをご用意ください。差込口によっては**Lタイプ**等への対応も必要です。「**INPUT: 100-240V, 50/60Hz**」の充電器は通常、変圧器不要です。100V専用機器は変換プラグだけでは使えません。

3. 通貨・両替について

イタリアの通貨はユーロ（EUR / €）で、1ユーロ＝100セントです。両都市で同じ通貨を使用します。カードと、5・10・20ユーロ札、1・2ユーロ硬貨など少額の現金を組み合わせでご用意ください。

自由食と予算：旅行には朝食8回・昼食3回・夕食3回が含まれます。各自での食事、カフェ、お買い物、自由行動中の交通費・入場料などをご準備ください。

両替・ATM：少額のユーロは出発前に用意すると便利です。ATM利用は海外対応・限度額・手数料をご確認ください。クレジットカードの現金引き出しは、キャッシング扱いとなる場合があります。

カードと通貨選択：出発前に暗証番号（PIN）を確認し、予備のカードは分けて保管してください。JPY決済では店舗・ATM側の換算レート等が適用されます。EUR決済ではカード会社側のレート・手数料で換算されます。

会計・貴重品：席料（coperto）・サービス料（servizio）の有無を確認してください。チップは義務ではなく、個人利用で良いサービスを受けた時の気持ちとして。混雑した駅・列車・水上バスではバッグを閉じて体の前で持ち、現金・カードを分散してください。

4. 物価・自由食の予算

1ユーロ＝185円の計算例。価格は目安で、店舗・注文内容により異なります。

項目	現地価格（目安）	日本円換算（@185円）
水 (500ml/スーパー)	0.50 ～ 1.00 EUR	約90 ～ 185円
水 (500ml/観光地売店)	2.50 ～ 4.00 EUR	約460 ～ 740円
ビール (330ml/トラットリア)	5.00 ～ 7.00 EUR	約925 ～ 1,300円
エスプレッソ（バル立ち飲み）	1.10 ～ 1.30 EUR	約200 ～ 240円
パスタ料理（トラットリア）	12.00 ～ 18.00 EUR	約2,220 ～ 3,330円

昼食：18～30ユーロ（約3,330～5,550円）

パスタ1皿と飲み物などの予算例。パニーニや切り売りピッツァは軽く済ませたい時に便利です。

夕食：45～70ユーロ（約8,325～12,950円）

前菜、パスタや肉料理、ワイン、席料などを含めた予算例。品数を減らして軽めにすることもできます。バーの席利用は立ち飲みと料金が異なる場合があります。

5. フィレンツェ | ホテル周辺の地図と買い物

ホテル・アトランティック・パレスに4連泊。中央市場やサンタ・マリア・ノヴェッラ駅に近く、ドゥオーモ方面への街歩きにも便利です。



地図は位置の目安です。徒歩時間は信号・混雑・経路などによって変わります。

生活用品・スーパーの調達

Conad City (Largo Fratelli Alinari店) 徒歩1～2分／約100m

駅前方面で飲料水や食品、ワイン、お土産用のお菓子などを探したい時に。

Conad City (Via del Melarancio店) 徒歩5分／約350m

メラランチオ通り沿い。観光の行き帰りに買い足す際の候補です。

Pam Local (Via Nazionale店) 徒歩2分／約150m

ナツィオナーレ通り沿いの小型スーパー。飲み物、軽食などの調達に。

Carrefour Express (Via Nazionale店) 徒歩3分／約200m

日常の買い足しに利用しやすい小型スーパー。営業時間は店頭でご確認ください。

※店舗の営業日・営業時間・品揃えは変更される場合があります。

5. フィレンツェ | 夕食・軽食・スイーツ

【トスカーナ料理・レストラン】

Ristorante Lorenzo de' Medici 【徒歩4分 / 約300m】

トスカーナ料理からピッツァまで、幅広い料理を選びたい時に。

Trattoria Zà Zà (トラットリア・ザザ) 【徒歩4分 / 約280m】

中央市場前のトラットリア。ステーキやトリュフを使った料理などが候補です。

Trattoria Enzo & Piero (エンゾ・エ・ピエロ) 【徒歩2分 / 約150m】

ホテル近くで手打ちパスタや伝統的な肉料理を楽しみたい夜に。

Trattoria La Gratella (ラ・グラテッラ) 【徒歩3分 / 約220m】

レンガのアーチ天井の店内で、リボッリータなど郷土料理を味わう候補。

Trattoria Dall'Oste - Chianina Station 【徒歩8分 / 約550m】

Tボーンステーキの専門店。重量・人数・焼き加減を確認して注文しましょう。

【パニーニ・軽食】

All'Antico Vinaio (Firenze Stazione SMN) 【徒歩4分 / 約350m】

SMN駅でボリュームのあるサンドイッチを持ち帰りたい時に。

Bondi Le Focaccine 【徒歩1分 / 約70m】

小ぶりのフォカッチャに具材を挟む専門店。気軽な昼食や軽食に。

Panino Mondiale - Specialità Lampredotto 【徒歩2分 / 約160m】

牛の胃を煮込んだフィレンツェ名物「ランプレドット」のパンを試す候補。

Caffè degl'Innocenti 【徒歩1分 / 約50m】

ホテル近くのバー。コーヒーやコルネットでひと休みしたい時に。

【ジェラート・スイーツ】

Cristian Beduschi (中央市場2階フードコート内) 【徒歩4分 / 約250m】

中央市場フードコート内。食後のジェラートやチョコレート菓子の候補。

Don Nino (フィレンツェSMN駅・地下街店) 【徒歩3分 / 約200m】

SMN駅地下街の店舗。移動の前後に甘いものを買いたい時に。

Gelateria Carabè (カラベ) 【徒歩6分 / 約450m】

アカデミア美術館近く。シチリア風のジェラートやフルーツ系の味が候補。

Edoardo (エドアルド) 【徒歩8分 / 約600m】

ドゥオーモ前。ジェラートと自家製ワッフルコーンを楽しみたい時に。

Gelateria Vivoli (ヴィヴォリ) 【徒歩15分 / 約1.2km】

サンタ・クローチェ聖堂近くの老舗。散策と組み合わせた立ち寄りに。

5. フィレンツェ | 中央市場フードコート

ホテルから徒歩3〜4分／約250m。中央市場の上階（日本式2階・現地表記1階）には、料理を選んで楽しめるフードコートがあります。複数人で好みが分かれる時や、自由食を気軽に済ませたい時にも便利です。

利用の流れ

- 料理は各スタンドで選び、注文・会計します。メニューやショーケースを見ながら、食べたいものと量を確認しましょう。
- 飲み物は中央のバーカウンターやドリンク担当スタッフに注文する方式です。購入場所や席の利用方法は、当日の案内に従ってください。
- 席を確保してから注文するなど、同行者と役割を分けると便利です。荷物やスマートフォンを席に置いたまま離れないでください。

Il Lampredotto

ランプレドットやトリッパなど、フィレンツェらしい煮込み料理の候補。パンに挟む形式か皿盛りかを確認して注文しましょう。

Il Pastaio

手打ちパスタのスタンド。ピーチ、ニョッキ、ラビオリなど、その日の料理とソースを選んで楽しめます。

Pizzeria

焼きたてのピッツァを食べたい時に。大きさを確認し、シェアする場合は注文時に相談しましょう。

La Carne

肉料理のスタンド。ステーキなどの重量・価格・人数を確認して選ぶと安心です。

自由食を楽しむために

昼にしっかり食べた日は、夕食をスープや軽食で済ませるなど、ご自身の食欲に合わせて調節してください。レストランでは前菜・パスタ・メインをすべて頼む必要はありません。

夜間も利用できる施設ですが、営業時間や各スタンドの営業状況は現地でご確認ください。持ち帰りを希望する場合は注文時に伝え、ホテル客室での飲食についてはホテルの案内に従ってください。

※営業時間・メニュー・価格・日本語メニューの有無は、利用前にご確認ください。

6. ベネチア | ホテル周辺の地図と買い物

ホテル・アッロアンジェロ（アランジェロ）に4連泊。サン・マルコ広場に近い立地です。橋や細い路地が続くため、ホテルの位置と帰り道を確認しておきましょう。



生活用品・スーパーの調達

Despar（Calle al Ponte de la Guerra店） 徒歩3分／約200m

飲料水、軽食、日常の食品などを買いたい時の候補。

Minimarket Coop（Calle del Mondo Novo店） 徒歩3分／約200m

小型店舗。水、スナック、果物などの買い足しに。

Crai（San Marco Supermarket） 徒歩4分／約300m

日常の食品や、お土産用のお菓子などを探す候補。

Coop（San Marco店／Riva del Carbon） 徒歩9分／約650m

リアルト橋周辺の散策と組み合わせて立ち寄る候補。

※徒歩時間・距離は目安です。橋の階段や混雑を考慮して余裕を持ち、営業状況は現地でご確認ください。

6. ベネチア | 夕食・軽食の候補

ピッツェリア

Rossopomodoro Venezia San Marco 徒歩1分／約40m
ホテル近くでナポリ風ピッツァを楽しみたい時に。

1000 Gourmet Venezia 徒歩1分／約20m
食材の組み合わせに工夫を凝らしたピッツァが候補。

Ristorante Centrale Pizzeria 徒歩2分／約150m
ピッツァに加え、魚介のリゾットなども選びたい時に。

郷土料理・レストラン

Antica Osteria Ai Tre Leoni 徒歩2分／約150m
魚介料理やパスタなど、席に着いて食事を楽しみたい夜に。

Beppino 徒歩1分／約60m
ピッツァや魚介のパスタなどを気軽に選びたい時に。

Al Chianti 徒歩1分／約50m
イタリアの肉料理や赤ワインを楽しみたい夜の候補。

Ristorante Dallo Zio San Marco 徒歩1分／約80m
魚介の前菜やパスタをゆっくり味わいたい時に。

La Piazza 徒歩3分／約220m
サン・マルコ広場北側。ピッツァ、魚介・肉料理などが候補。

バーカロ・テイクアウト

Bacarando in Corte dell'Orso 徒歩3分／約200m
チケッティ（小皿料理）とワインなどで軽く食べたい時に。

Enoteca Al Volto 徒歩4分／約300m
ワインと小皿料理、トラメッツィーニなどを楽しむ候補。

Osteria Ae Sconte 徒歩2分／約150m
魚介料理などを楽しめるオステリア。注文形式は店頭で確認を。

Dal Moro's Fresh Pasta To Go 徒歩2分／約150m
持ち帰り用の生パスタ専門店。好みのソースを選びたい時に。

Sansovino Pizza & Pasta 徒歩3分／約200m
ピッツァやパスタを持ち帰って食べたい時の候補。

6. ベネチア | ジェラートと街歩きのヒント

Gelato di Natura（モンド・ノーヴォ橋前店） 徒歩2分／約150m

ホテル北側、モンド・ノーヴォ橋付近。買い物や夕食の帰りに立ち寄る候補。

Gelateria Canonica 徒歩2分／約150m

Campo Santi Filippo e Giacomo付近。定番のミルク系やチョコレート系など、好みの味を探してみてください。

Il Salotto di San Marco 徒歩3分／約250m

サン・マルコ広場近く、Calle dei Fabbriのジェラート店。街歩きの途中に。

Gelatoteca Gallonetto 徒歩3分／約220m

ホテル北側の路地にあるジェラート店。ピスタチオやヘーゼルナッツなども候補です。

食事・買い物の前に確認したいこと

- **営業・予約**：11月は休業日や営業時間が変わる場合があります。希望する店はホテルや添乗員に確認し、人気店は予約を検討してください。
- **会計**：入店前にメニューと価格、席料・サービス料をご確認ください。魚料理や肉料理は重量単位の価格表示にも注意しましょう。
- **持ち帰り**：ホテル客室での飲食の可否はホテルにご確認ください。運河沿いや広場など公共の場所での飲食は、掲示や現地のルールに従ってください。
- **歩き方**：濡れた石畳や橋の階段では足元に注意し、荷物は小さく軽くまとめましょう。暗くなる前にホテルの位置と帰り道を確認してください。
- **水上バス**：乗車券は有効期間を確認し、乗船時の有効化など、係員・添乗員の案内に従ってください。船着き場の行き先表示を見て、余裕を持って移動しましょう。
- **貴重品**：混雑した船内や路地ではバッグを閉じ、スマートフォンを出したまま歩かないようにしてください。飲食店では荷物を椅子の背に掛けず、身近に置きましょう。

店舗案内・徒歩時間は提供資料をもとに編集。地図：旅のデザインルーム掲載図。価格は1ユーロ＝185円での目安です。営業時間・メニュー・料金等に変更される場合があります。2026年10月作成。